



新任指導員の紹介



齋藤浩一郎
(宮城野)



今年度より加入させていただくこととなりました。よろしくお願い致します。

以前は子ども会に参加し、季節毎の行事やイベントなど行っておりましたが、宮城野地域の子どもの会は参加者激減により解散となってしまいました。

残念に感じていた中、こうした機会に恵まれたことをうれしく思っております。

未だ右も左もわかりませんので、諸先輩方に教えを請いながら経験を積んでいき、子どもたちが地域や学年を超えた絆を作る一端を担っていけたら幸いです。

金子 森
(箱根)



今期から新任の金子です。生まれは箱根町箱根ですが小学校2年の時に引越してしまい、結婚を期に10年程前に地元に戻ってきました。

現在は小学3年と1年の子どもが二人おり、国立公園の自然に囲まれながら国際色も豊かな箱根での子育てを楽しんでいます。私は外国人向けのガイド業を営んでいますが、訪れる多くの海外からのゲストが、箱根の自然、歴史、文化に興味を持ってくれているのがとても嬉しいです。この素晴らしい環境を、我が子が大きくなった後、その次の世代にも繋げていけるような活動を青少年指導員を通じて行えればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



退任者あいさつ



青少年指導員の活動で子どもたちとキャンプやアスレチック等で一緒に楽しく過ごせたことは私の人生の中でとても有意義な時間だったと思っています。

青少年指導員の皆さんは熱い心を持った人ばかりです。今後も子どもたちのために大いに力を発揮し活動してください。

私も違う形ではありますが地域のため、箱根町のために頑張りたいと思います。8年間ありがとうございました。

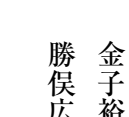
水野 奏 (宮城野)

青少年指導員として10年間携わらせていただきました。

須雲川キャンプや、フォレストアドベンチャーでは子どもたちと共に良い体験をさせていただき、また青少年指導員チームで出場した箱根町駅伝競走大会は良い思い出の一つです。コロナウィルス感染症により緊急事態宣言が発令され思うような活動が出来ない期間が長く続きましたが、そのような中でも新たな活動方法を模索し指導員の皆様と共に従事した事は私自身も成長させていただきました。

退任致しますがこれからも一箱根住民として陰ながら応援させていただきます。

浅井秀樹 (箱根)



編集後記



コロナ禍が明けようやく青少年の活動にも活気がみられるようになりました。しかし、まだまだコロナ・インフルエ enz 等油断を許さない状況が続いています。

引き続き子どもたちの安全を一番に考えながら様々な行事を通して人との繋がりを大切にして行きたいと思っています。

また、20歳を祝う会では箱根町の皆様の協力を得て素晴らしい式にする事が出来ました。今後とも私達の活動にご協力をお願いいたします。

広報部会

勝俣純子 (仙石原) 部長

大場征広 (箱根)

端 千春 (湯本)

金子裕子 (温泉)

勝俣広子 (宮城野)

(1) 第 74 号

青少年指導員だより「大樹」

令和 7 年 3 月 14 日発行



大 樹



箱根町 青少年指導員 大樹

検索

発行

箱根町青少年指導員連絡協議会
会長 湯川 耕一
箱根町湯本 266 番地
箱根町教育委員会内
電話 0460 (85) 7601



会長挨拶

湯川 耕一 (宮城野)

青少年指導員は、明日を担う子どもたちと直に向き合い、その健やかな成長を願い、様々な取り組みをしています。

めまぐるしく変化している子どもたちの環境は、インターネットの普及により知識だけはあるが経験はないという状況です。

地域・学校・保護者・青少年指導員が一丸となり、経験を活かし、新たな取り組みを検討して参加される方々を笑顔にできる事業を展開していきたいと思いますので、より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

第55回 神奈川県青少年指導員大会

令和 6 年 11 月 10 日 (日) に相模原市で行われた第 55 回神奈川県青少年指導員大会の講演者は、JAXA 宇宙科学研究所教授津田雄一氏でした。

内容は「好奇心と縁が夢を作る」でした。津田氏の経験より、興味のある事、関心のある事を感じた時、先ずは行動、手を動かす事が大事であり、成功体験を積み重ねる事で将来の夢を叶える事が出来たと、講演されていたのが印象に残っています。

今私達がやるべきことは、現代の子どもたちへ趣くまに様々なチャレンジをして、自分の生きる道を自ら切り拓いていくことは大変だけれど、やりがいのある事だと伝えていくことだと思いました。

笹川満寿美 (箱根)





県西地域青少年指導員活動研究会

令和 6 年 10 月 19 日 (土) 足柄森林公園 丸太の森で開催された研究会に参加させていただきました。テーマは「災害時にも役立つ! パッククッキングでカレーづくり」でした。2 市 8 町全 64 名の参加者を 10 班に分けた形でプログラムが開始されました。

作業は、かまど担当は火おこしをして鍋に水をはり沸騰させ、ご飯担当は洗ったお米をカレー担当は切った食材をそれぞれ適量の水とともに袋に入れるという内容でした。今回、万能ポリ袋「アイラップ」の存在を始めて知るとともに、沸騰したお湯の中に袋のまま入れて煮るという調理方法も初体験でした。

他地区との情報交換と災害時の対応について再認識が出来た有意義な研究会でした。

勝俣建吾副会長 (湯本)



令和7年1月25日(土)開催

冬の箱根～星空観賞会～

私たちが暮らす箱根では、冬の夜空に溢れるような星々を誰もが見上げたことがあるでしょう。しかし、町内はもちろん近隣にも星空を学べるプラネタリウムはありません。そこで、美しい星空を親子で学ぶ機会を作れないかと考えていたところ、「出張プラネタリウム」の存在を知りました。

当日は、中学校の体育館で星にちなんだ工作を楽しんだ後、直径7mのドーム型プラネタリウムで星座について学びました。そして、最後はグラウンドに出て、天体望遠鏡で実際の夜空を観察しました。

子どもから大人まで世代を超えて、多くの方と星空の魅力を分かち合えた、素晴らしいひとときとなりました。

酒寄繁基副会長（仙石原）



講師のご紹介



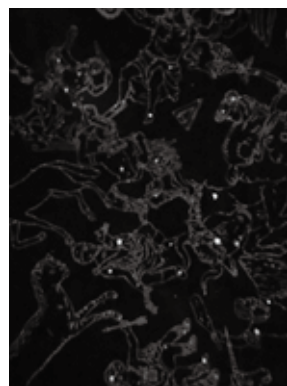
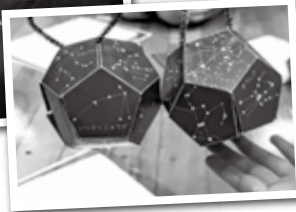
おさんぽ星 代表 山口珠美 さん
箱根を拠点に、移動式のプラネタリウムや星空観察会、地球や宇宙に関する工作・実験教室を出張形式で実施しています。

参加者からの感想

当日参加してくれた子どもたちから感想をいただきました！

- 星空がきれいだった。
- 工作が上手にでき満足！
- 友だちと仲よくなった！
- かせいにいきたい などなど

1番楽しかったのは「プラネタリウム」と答えた人が多かったです。



はじめて移動式プラネタリウムの外観を見て、まずその大きさに驚きました。ドームに映し出されるプラネタリウムを鑑賞し、山口先生の優しい口調での説明と映像の美しさに、おまわず広報写真を撮り忘れそうになるほどすっかり見入ってしまいました。

屋外での星空観察では、天体望遠鏡を使い、木星などを見ました。望遠鏡をのぞき込み、「見えた！」とはしゃぐ子どもたちの様子がとても微笑ましく印象的でした。

1人静かにゆっくり星空を眺める時間も良いのですが、たまにはこうして大勢の人とワイワイ楽しく星空観察をするのも良いものだなと思いました。



勝俣広子（宮城野）

祝 1月13日(月・祝) 令和7年 箱根町20歳を祝う会

式典テーマ『繋』

交流会キャッチフレーズ

ひつしょう しき
『必笑～笑う式には福きたる～』
会場「湯本富士屋ホテル」

20歳を迎えた皆様おめでとうございます。

コロナ禍という不安定な時代に中学卒業や高校入学を迎え、制限の多い生活環境の中、不安や苦勞を乗り越えてきた世代ではないでしょうか。これからは今までの経験を活かし、様々なことにチャレンジして欲しいと思います。

式典・繋！緊張感の中、挨拶の言葉等、心に染みました。人との繋がりを再認識した事でしょう。

交流会・必笑！実行委員の司会進行で和やかな雰囲気の中、抽選会など笑いありで無事終了しました。

保護者の皆様にとっても、感慨深く素晴らしい時間になったのではないのでしょうか。20歳を祝う会の開催に際しまして、ご協力くださいました団体・企業の皆様、町職員の皆様には心より感謝申し上げます。

そして数カ月前より準備等に尽力してくれた実行委員の皆様、お疲れ様でした。心に残る素敵な会でした。
金子裕子（温泉）

